

## 宮城県漁協志津川支所に、ボランティア次々と みやぎ生協店舗でカキの供給開始



水揚げされ、一旦タンクにて保管されるカキ。収穫の喜びに、顔がほころぶ。

みやぎ生協の産直産地である宮城県漁協志津川支所は、カキ・ワカメ等の養殖で有名な産地でしたが、東日本大震災で壊滅的な被害を受けました。その志津川支所に、震災直後から京都生協をはじめ、多くの生協が支援を行っており、その支援は現在も継続されています。

コープしがは今年1月～10月

までに6回、大阪府生協連では、7月～10月までに4回、バスボランティアを実施しており、組合員・生協職員がわかめの選別作業や、土のう詰め作業、ホタテの貝に穴をあける作業などの手伝いをしてきました。大阪いずみ市民生協、京都生協は合同で5月に実施、コープしまねも3月に行ないました(コープしが、大阪いずみ市民生協・京都生協では12月にも実施予定)。

そうしたなか、10月には共同カキ処理場が完成し震災後初めての水揚げが行なわれ、11月8日からはみやぎ生協店舗にもカキが2年ぶりに並びました。

震災の影響で作業場が満潮時には

水浸しになったり、少ない人員でさまざまな作業をこなさなければならぬなど、まだまだ支援が求められる志津川支所ですが、着実に復興への歩みを進めています。

※ 志津川のカキの応援ソングができました！  
「南三陸志津川のかきのうた ようこそぐみ野へ」  
(作詞・作曲・歌：亜 KIRA / 編曲・三浦一年)  
[http://www.youtube.com/watch?v=E4HO\\_CSJaHc](http://www.youtube.com/watch?v=E4HO_CSJaHc)  
(「YouTube 南三陸志津川のかきのうた」で検索！)



ホタテ貝への穴あけとワイヤー通しを行なう大阪府生協連ボランティアの参加者たち。

## 食のみやぎ復興ネットワーク※開発商品続々

### 11月開発商品、一部ご紹介！

※食を通じた復興に取り組むプロジェクト。現在の参加団体は211団体。地場農産物を対象にさまざまな商品開発が行なわれている。



なたねプロジェクトの「菜の花はちみつ飴」。製造者：(有)蔵王の昔飴本舗、50g入り、198円。

#### ●なたねプロジェクト「菜の花はちみつ飴」提供開始

食のみやぎ復興ネットワーク活動の一環である「なたねプロジェクト」は、耕作放棄地を防ぎ、地域に新しい特産品を作ることを目的に、宮城県岩沼市玉浦地区の被災した農地に菜種を植える取り組みです。その菜種からとれた菜種油が、岩沼市立玉浦小学校・玉浦中学校の学校給食で

使用されることになりました。また、菜の花から採取したはちみつで作った飴は11月22日より、みやぎ生協全店舗で供給されています。

#### ●「ふっこう みんななかよしわかめクッキー」、いかがですか？

被災した石巻市立大原小学校の子どもたちが、地元でとれたわかめを使い「ふっこう みんななかよしわかめクッキー」を作りました。

これは、「自分たちの視点で地域を見直す」ための学習の一環として企画されたものです。地元の表浜漁協で出荷が再開されたわかめを原料とし、クッキーには自分たちで考えた名前を付けました。この活動を

知った宮城県漁協は、「食のみやぎ復興ネットワーク」でつながっているみやぎ生協に何か応援できないかと相談し、みやぎ生協石巻大橋店で宣伝、供給することになりました。

11月17日、500個限定で子どもたち自身がクッキーの販売を行ない、1時間半で完売しました。



販売、店内放送など大忙しな子どもたち。